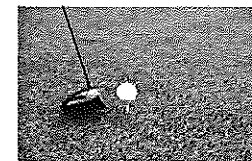


立教池袋 運動部通信

第62号 2014.10.30.
～夏・秋の戦績～

ゴルフ部 夏・秋の戦績



R.I.F.がいよいよ目の前に迫ってきましたが、運動部の方でも熱い戦いが行われています。今回は夏・秋の試合報告をお届けします。R.I.F.中には招待試合も行われるので、ぜひ各部の応援をして下さい！

陸上競技部

高校生 都新人大会総合6位
中学生 都大会3名入賞

3日間に渡って行われた東京都高校新人大会に本校から多くの選手が出場した。中でも新キャプテンの大野は100mで4位(10秒97)200mで3位(21秒90)と2種目で入賞。副キャプテンの本橋は3000m障害と5000mの2種目優勝(9分28秒08/15分16秒39)に加えて1500mでも8位(4分00秒73)と3種目での入賞を果たし、チームの柱となる2名が関東新人大会に駒を進めた。他にも110mハードルで高1岡本が8位(16秒81)、ハンマー投で高2東海林が7位(37m75)にそれぞれ入賞し、学校総合では6位となった。茨城県で行われた関東大会では大野が100mで4位(11秒04)、本橋が3000m障害で2位(9分20秒92)に入る健闘を見せた。また、大野は名古屋で行われた全日本ユース大会で100m6位(10秒72)となり、初出場の全国大会で入賞を果たした。



中学生の支部対抗戦で行われる都大会では、豊島区代表として中1梶山が100mハードル、中3峰崎が200m、加藤、増田が400mにそれぞれ出場した。都大会に個人では初出場の梶山が予選から他を寄せつけない快走で優勝(15秒52)を飾ると、峰崎、加藤も夏には成しえなかった初の都大会決勝進出を果たした。峰崎は200mで5位(23秒56)、加藤

は400mで4位(51秒70)に入賞した。それぞれ豊島区チームの男子総合6位に大きく貢献することができた。

11月3日には高校東京都駅伝が控えている。6年間走り続けてきた3年生や2年生エースの本橋を中心に選手一同順調に調子を上げてきている。RIFと日程が重なってしまいますが、応援よろしくをお願いします。



中学

○関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技(7/30～8/1 相模原ゴルフクラブ)

個人戦 出場①梅内秀太郎、③吉田圭吾

○関東中学校ゴルフ選手権大会(団体7/23 大宮国際CC)

団体の部 第3位 ③吉田、①梅内、③渡辺、③西森(223) ⇒7年連続全国大会へ

○全国中学校ゴルフ選手権大会(団体8/5～6 宇部72CC)

団体の部 16位=575(300・275)

③吉田(185=95・90)、①梅内(83=-・83)、③西森(190=88・102)、③柳澤(117=117・-)、③渡辺(104=-・104)

○平成26年度豊島区スポーツ栄誉賞を受賞

高校

○関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技(7/30～8/1 相模原GC)

個人戦 15位①塚本 岳(227) ⇒日本ジュニア選手権競技へ

出場①樋口 匠(168)、①金子憲洋(172)、③小島翔太(184)

○日本ジュニアゴルフ選手権(8/20～22 霞ヶ関CC)

31位①塚本 岳(217=71・75・71)

○関東高等学校ゴルフ選手権決勝大会(7/25～26 那須野ヶ原CC)

個人の部 44位①塚本 岳(147) ⇒全国大会(個人)へ

出場①青木公翼、②森川治門、①笹井孝祐、①樋口 匠、②鶴田宙大

団体の部 14位 ①塚本・②森川・①青木・①樋口・③小島(450) ⇒全国大会(団体)へ

○全国高等学校ゴルフ選手権大会(団体8/5～6、個人8/8～9 宇部72CC)

団体の部 25位=455(238・217)

①塚本(142=74・68)、①樋口(151=79・72)、①青木(173=88・85)、③小島(85・-)、①笹井(-・77)

個人の部 17位①塚本 岳(142=71・71)

○平成26年度豊島区スポーツ奨励賞を受賞

○第69回国民体育大会ゴルフ競技(10/13～14 大村湾カントリー倶楽部ニューコース)

出場①塚本 岳、①樋口 匠

共通

○夏季合宿中の立教杯(8/21～22 サンコー72CC)

1位①樋口 匠(138)、2位①星 一生(138)、3位①青木公翼(140)、4位①笹井孝祐(146)、5位①山田智大(151)、

6位②鶴田宙大(153)、7位②福田博之(156)、8位②永尾瑠希(156)、9位中①梅内秀太郎(158)、10位中③渡辺陸太郎(159)

秋・冬の予定

○東京都高等学校ゴルフ選手権秋季大会(11/4 取手国際ゴルフ倶楽部)

○アジアパシフィックジュニアカップ(11/6～13 ハワイ Waikoloa King's Golf Course)

出場①塚本 岳

○全日本大学・高等学校ゴルフ対抗戦(11/21～22 上総モナークCC)

出場①塚本 岳

○関東高等学校ゴルフ選手権冬季大会(12/23～24 一の宮カントリー倶楽部)

中・高 水泳部 大会結果報告

夏休みは、「質」、「量」共に1年間でもっとも高い期間。今年度はよりスピードを意識して練習を組み立て、Swim だけではなく陸上トレーニングにも力を入れてきた。それぞれの結果を受け止め今後につなげてもらいたい。以下は9月に行われた大会の結果である。

□東京都中学校学年別水泳競技大会 (9月13日・14日)

○50m自由形 <1年生の部>	○100mバタフライ <2年生の部>
第63位 長谷川 綾 32秒86	第19位 小畑 大貴 1分09秒54
第78位 新井 耀平 33秒46	第26位 石松 直樹 1分13秒90
第168位 佐藤 太一 37秒17	
○100m自由形 <1年生の部>	○100m背泳ぎ <1年生の部>
第24位 大山 泰典 1分07秒56	第16位 米川 文人 1分16秒78
第34位 今田 慎吾 1分09秒50	○100m背泳ぎ <2年生の部>
第46位 宮地 晴希 1分14秒67	第11位 岡田 凱人 1分08秒59
○100m自由形 <2年生の部>	第12位 高田レオナ 1分08秒64
第30位 内藤 匠海 1分04秒69	○100m平泳ぎ <1年生の部>
第59位 遠藤 雄太 1分11秒73	第8位 宮本 拓茂 1分16秒66
○100m自由形 <3年生の部>	第24位 伴野 裕希 1分22秒63
第13位 菊池 一成 59秒14	○50m平泳ぎ <1年生の部>
第15位 伊与久純平 1分00秒43	第49位 中津 大慎 42秒61
第17位 東海林輝之 1分00秒66	第54位 神野 優紀 43秒28
○400m自由形 <2年生の部>	○100m平泳ぎ <2年生の部>
第18位 赤松 駿樹 5分05秒54	第10位 高野 大希 1分14秒03
○100mバタフライ <1年生の部>	第34位 渡邊 翔太 1分23秒52
第13位 田村章太郎 1分22秒74	○200mフリーリレー
	第12位 東海林・菊池・伊与久・岡田 1分48秒35
	○200mメドレーリレー
	第19位 岡田・高野・東海林・菊池 2分02秒82



□東京都高等学校新人水泳競技大会 (9月20日・21日)

○50m自由形 予選	○50mバタフライ 予選
第210位 雨宮 大河 30秒96	第6位 芝本 新里 26秒78
○100m自由形 予選	○50mバタフライ 決勝
第4位 山野 哲平 54秒85	第3位 芝本 新里 26秒45
第19位 黒田 大貴 57秒43	○100mバタフライ 予選
第47位 田中 光 1分00秒43	第21位 藤井 涼矢 1分03秒06
○100m自由形 決勝	○200m個人メドレー 予選
第3位 山野 哲平 54秒24	第10位 溝上 壽人 2分15秒62
○100m背泳ぎ 予選	○200m個人メドレー 決勝
第36位 山村 昌斗 1分11秒23	第10位 溝上 壽人 2分17秒67
○50m平泳ぎ 予選	○200mメドレーリレー タイム決勝
第112位 門脇 誉幸 39秒20	第16位 溝上・山野・藤井・黒田 1分55秒53
○100m平泳ぎ 予選	○400mリレー タイム決勝
第49位 渡部雄一郎 1分18秒10	第10位 芝本・黒田・田中・山野 3分46秒76

□東京都高等学校長水路記録会 (9月27日)

○50m自由形 タイム決勝	○100m平泳ぎ タイム決勝
第8位 山野 哲平 25秒55	第56位 渡部 雄一郎 1分16秒39
○100m自由形 タイム決勝	第17位 水村 崇滉 1分17秒94
第25位 赤津 諒一 57秒26	○100mバタフライ タイム決勝
第42位 黒田 大貴 58秒62	第4位 芝本 新里 57秒62
第67位 田中 光 1分00秒41	第30位 藤井 涼矢 1分02秒89
第75位 大瀬 智広 1分00秒82	第57位 森西 美光 1分08秒95
第105位 山村 昌斗 1分03秒15	○200mメドレーリレー タイム決勝
第113位 西風 孝生 1分03秒64	第39位 山村・水村・溝上・赤津 2分01秒11
第159位 雨宮 大河 1分06秒55	第61位 西風・渡部・黒田・雨宮 2分05秒90
第165位 森田 裕彬 1分07秒06	○200mリレー タイム決勝
○100m背泳ぎ タイム決勝	第19位 山野・溝上・赤津・大瀬 1分43秒28
第17位 溝上 壽人 1分05秒74	第58位 森田・黒田・田中・森西 1分50秒33
	第66位 西風・水村・渡部・芝本 1分51秒50

9月で高校3年生が引退し、10月からは新体制での新たなシーズンが始まった。以下は中高の新しい3役である。
 高校3役 キャプテン：田中、副キャプテン：渡部、マネージャー：山村
 中学3役 キャプテン：小畑、副キャプテン：高野、マネージャー：渡邊
 彼らを中心に、どんなチームになるのか期待したい。
 「単に速い選手ではなく強い選手になろう。誰からも応援される選手になろう。」 顧問 酒井

山岳スキー部(中学)

全国中学校スキー大会東京都選考会 大会日程

2015年1月3日(土)~6日(火)、北志賀よませ温泉スキー場にて全国中学校スキー大会東京都選考会が行われます。年に一度の中学の大会です。



山岳スキー部(高校)

全国関東高等学校スキー大会東京都予選会 大会日程

2015年1月4日(日)~8日(木)、群馬県鹿沢スノーエアースキー場にて全国関東高等学校スキー大会東京都予選会が行われます。インターハイ・関東大会につながる大会です。

東京都高等学校スキー大会 大会日程

2015年2月13日(金)~17日(火)、新潟県セントレジャー舞子スノーエリアにて東京都高等学校スキー大会が行われます。唯一学校対抗のある大会です。

中高剣道部

夏休みの8月10日、明治大学付属明治高等学校で五大学附属剣道大会が行われた。高校・中学ともに3年生が参加する最後の大会、本校剣道部は高三1名、高二2名、高一5名で7人制の高校の部に、中三4名、中二4名、中一7名で5人制の中学の部に参加した。

高校の部 (予選リーグ)	中学の部 (トーナメント)
1回戦 対慶応志木 勝ち	1回戦 対早大学院中 勝ち
2回戦 対明大中野 負け	2回戦 対慶応中等部 勝ち
3回戦 対立教新座 負け	3回戦 対明大中野中 負け
4回戦 対法政第二 負け	
5回戦 対慶応湘南藤沢 勝ち	
(順位決定戦)	
決定戦 対明大明治 勝ち	

以上の結果、高校は第9位、中学は準優勝となった。

8月18日、東京都秋季剣道大会が行われた。
1回戦 対日本大学豊山高校 負け

10月13日、第四ブロック秋季剣道大会が行われ、以下の戦績を挙げた。
1回戦 シードのため試合なし
2回戦 対茗台中 勝ち
3回戦 対京華中 負け
以上の結果、ベスト8となり、都大会進出が決定した。

10月19日、豊島区秋季剣道大会が行われ、以下の戦績を挙げた。
 中学一年生個人戦の部 木村=準優勝
 中学二年生個人戦の部 豊田=優勝、伊藤=準優勝、藤井=第三位
 高校生個人戦の部 近藤=三位
 中学生団体戦の部 立教池袋中A(秋元、生駒、豊田)=準優勝
 高校生団体戦の部 立教池袋高A(飯森、千葉)=優勝
 立教池袋高B(小宮、廣瀬)=準優勝

R.I.F.が終わると中学は11/15に秋季都大会、高校は11/23に三支部大会高校に参加する。まだまだ成長途中の立教池袋中高剣道部、常に上を目指してチャレンジしていきたい。



中学サッカー一部



<豊島区夏季大会>

予選リーグ Cグループ

- 6月14日(土) 立教池袋 13 - 0 西巣鴨
 - 6月15日(日) 立教池袋 11 - 0 城西 (グループ1位通過)
- ### 決勝トーナメント 準々決勝
- 6月22日(日) 立教池袋 1 - 2 学習院

<東京都私学大会>

- 8月21日(木) 立教池袋 1 - 1 かえつ有明 (PK 3 - 2)
- 8月22日(金) 立教池袋 5 - 0 桐朋
- 8月24日(日) 立教池袋 1 - 2 國學院久我山 (ベスト16)

<秋季豊島区大会>

予選リーグ Cグループ

- 10月1日(水) 立教池袋 9 - 0 巣鴨北
- 10月12日(日) 立教池袋 12 - 0 城西 (Cグループ1位)

決勝トーナメント 準々決勝

- 10月13日(月) 立教池袋 7 - 0 千登世橋

決勝トーナメント 準決勝

- 10月13日(月) 立教池袋 0 - 3 本郷

決勝トーナメント 3位決定戦

- 10月19日(日) 立教池袋 5 - 2 千川 (ブロック大会出場)

<Tリーグ>

- 7月28日(月) 立教池袋 2 - 4 木曾
- 7月29日(火) 立教池袋 0 - 6 法政
- 7月30日(水) 立教池袋 1 - 1 京華
- 8月5日(火) 立教池袋 2 - 3 芝
- 8月7日(木) 立教池袋 1 - 3 創価
- 8月10日(日) 立教池袋 4 - 3 高島第二 (Aグループ7位)

中3は夏の区大会で悔しい思いをして、Tリーグでは強豪校が名を連ねるリーグで更なる試練を経験した。うまくいかないことの方が多かったと思うが、Tリーグで多くの試合をしたことにより、個人の技術に加えて、確実にチーム力が高まっていった。最終戦で強豪校にも勝ち、その勢いは私学大会でも続き、良い結果につながった。たとえ打ちのめされても、そこから立ち上がって、継続してゆけば何かを得ることができる。3年生は、このことを学んでくれたのではないだろうか。現高2の代も、私学大会で國學院久我山に敗れているだけに、後輩たちがその雪辱を晴らしてくれることを期待したい。新チーム(1・2年生)は、豊島区大会で優勝することはできなかったが、ブロック大会出場を決めた。持っている力をすべて発揮して、豊島区の代表として恥ずかしくない試合をして、ぜひとも都大会への切符を勝ちとってもらいたい。みなさま、応援をよろしくお願い致します。(顧問)

<ブロック大会>

- 1回戦 11/1(土) vs. 獨協中(文京区2位) 11:20キックオフ @ 東京朝鮮中高級学校グラウンド
- 2回戦 11/3(月) vs. 城北・十条富士見の勝利校 10:00 キックオフ @ 高島三中グラウンド
- 決定戦 11/8(土) 10:00 キックオフ @ 赤羽スポーツの森公園競技場

中学野球部

▽ 夏季豊島区大会 「秋・春・夏の3連覇！」

- 一回戦 vs シード
- 二回戦 vs 巣鴨 6 - 3 ○
- 準決勝 vs 西池袋 3 - 0 ○
- 決勝 vs 西巣鴨 8 - 0 ○ **優勝により9季連続でブロック大会出場**

▽ 夏季第4ブロック大会

- vs 十条富士見(北区2位) 0 - 1 ●

都大会出場ならず、3年生は公式戦終了

3年生にとっては最後となる夏季大会。まずは区大会を優勝し、3連覇達成。1年間負けなしは素晴らしい。しかし、次の都大会を決めるブロック大会で敗退。3年生と野球ができなくなる事を意味する敗戦。1年間で一番悔しい試合となった。しかし、3年生は頑張った。区大会3連覇・春季都大会ベスト32、熱い父母会のご支援。ご苦労様、充実した日々感謝。父母の会の皆様、ありがとうございました。

<新チーム(2・1年生)>

▽ 第36回 下町杯 GIANTS中学野球大会

「第3位」

- 一回戦 vs 篠崎第二 10 - 0 ○
- 二回戦 vs 東海大浦安 5 - 2 ○
- 三回戦 vs 深川第三/東陽 7 - 4 ○
- 準々決勝 vs 葛西第二 4 - 3 ○
- 準決勝 vs 上一色 3 - 5 ●



▽ 秋季豊島区大会 「3年生に続き、優勝。4連覇達成！」

- 一回戦 vs 千登世橋 10 - 0 ○ 4回コールド
- 二回戦 vs 巣鴨北 4 - 3 ○
- 準決勝 vs 本郷 7 - 0 ○ 5回コールド
- 決勝 vs 池袋 7 - 0 ○ 5回コールド

優勝により10季連続でブロック大会出場

▽ 秋季第4ブロック大会

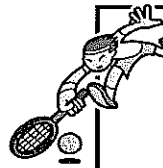
- vs 上板橋第三(板橋区2位) 3 - 1 ○ **都大会出場が決定**

▽ 第67回 東京都中学校野球秋季大会

- 一回戦 vs 田柄 2 - 5 ● **都ベスト32**

夏休みに行われた下町杯で第3位となった新チーム。都大会以上のレベルを誇る下町杯での結果を自信とし反省に活かし、臨んだ秋季区大会。予定通りの優勝を果たし次のブロック大会へ。ここでも落ち着いた試合運びで都大会を決めた。春季都大会で負けた悔しさもあって、5試合を戦い抜くことを信じて臨んだがまたしても1回戦で敗退となった。しかし、秋の都大会を経験したことで見えてきたものもあった。今は自分たちの課題・目標を1つ1つクリアするべく必死に練習に励んでいる。春まで自分とチームの目標を見失わないように選手同士で励まし、評価し、春季都大会の優勝を勝ち取りたい。

中学庭球部 試合結果報告



<都第4ブロック団体戦>

- ~優勝、都総体出場決定~
- 2R 4 - 1 対 巣鴨
- 3R 4 - 1 対 芝浦工大
- SF 3 - 0 対 高島二
- F 3 - 0 対 学習院

<都総合体育大会団体戦>

- ~ベスト16~
- 1R 5 - 0 対 府中三
- 2R 3 - 2 対 成城学園
- 3R 2 - 3 対 早稲田実業

※課題を持って練習に励んだ。派手なショットは無いが頭を使った試合展開、そして信頼できる仲間の声援を武器にすれすれの勝利を勝ち取った。夏に合宿を経験しなかった1年生の目の色も、試合を重ねるごとに精悍に変わっていった。次は関東上位進出、全中出場を実現するチームとなるべく努力を続けていきたい。

<都新人第4ブロック大会>

- シングルス 準優勝 齋藤
- 第5位 地主
- ベスト16 津屋、唐鎌
- ダブルス 優勝 齋藤・地主

<都大会新人個人戦>

- シングルス ベスト32 齋藤、地主
- ダブルス ベスト16 齋藤・地主

<都大会新人団体戦>

~第3位、関東大会出場決定~

- 2R 5 - 0 対 芝
- 3R 3 - 0 対 砧
- 4R 3 - 0 対 武蔵
- 5R 3 - 2 対 成城
- QF 3 - 1 対 小金井一
- SF 0 - 3 対 小平二
- 三決 3 - 1 対 成城学園



中学卓球部

■夏季区大会

- 団体 優勝
- 個人(シングルス) 優勝 小川 麻博
- ベスト4 山瀬 天生
- ベスト4 宮原 健人
- 個人(ダブルス) 優勝 城北・石田ペア

■私学大会

- 団体 ベスト32 立教A
- 個人(シングルス) ベスト64 山瀬 天生
- 個人(ダブルス) ベスト32 山瀬・王ペア

夏の大会では3年生だけでなく、2年生の活躍もあった。団体が優勝できたことは、さらなるステージへの第一歩が踏み出せたように思う。私立大会でも約1500人が参加する中、上記の成績は我々のチームも強豪校と戦えると感じさせるに十分であった。後輩たちも続いてほしいと願っている。秋季区大会、新人戦、城北大会とこれからの大会においても、それぞれが力を発揮できるよう取り組んでもらいたい。

高校庭球部

平成26年度 新人大会 9/14~

~個人戦(単・複)結果~

- 出場者: 宮川(高2年)、柳(高2年)、高橋(暉)(高2年)、御代(高1年)、齋藤(航)(高2年)、小島(高2年)、齋藤(宏)(高2年)、荻津(高2年)、太田(高2年)

- ▽シングルス...齋藤(航)が本戦2R進出
- ▽ダブルス...高橋(暉)・柳 ペアが本戦1R進出
- ▽S1名 齋藤(航)による累積ポイント=25点

○東京都私立中学高等学校テニス選手権大会(団) 途中経過

- 立教池袋高A 4R進出中
- 立教池袋高B 4R進出中

春からの長いシーズンが一区切りを迎えた。目標の「関東」への必須条件である16校戦への進出を二年連続で逃した。チームづくりで積み上げたパーツは無駄ではない。多くの練習試合を通して得た上位校との「差」を部員で共有し、奮起するのみ。(顧問)

中学バスケットボール部

☆豊島区夏季大会☆優勝

- 2回戦 立教池袋 41 - 32 西池袋
- 決勝リーグ① 立教池袋 62 - 30 巢鴨
- 決勝リーグ② 立教池袋 38 - 29 巢鴨北
- 決勝リーグ③ 立教池袋 48 - 21 学習院



※豊島区優勝、東京都大会出場、優秀選手：伊勢山

春の区大会で学習院に負け、そのリベンジを果たした。チームの柱であった中野を大会中に怪我で欠くも、層の厚さを感じさせる試合展開で、都大会出場を手にした。試合に出られない中野のためにも、都大会での躍進を皆で誓い合った。

☆東京都選手権大会☆ベスト32

- 1回戦 立教池袋 48 - 39 小平二
 - 2回戦 立教池袋 32 - 54 京北
- ※都大会ベスト32

総決算の夏の都大会。1回戦は苦しみながらも勝利を収め、2回戦に駒を進めた。強豪京北が相手であったが、必死に食らいつく選手、懸命に声を送るベンチメンバーの姿が印象的であった。春のブロック大会でも挑戦し、今回も跳ね返されたが、すべてを出し切った結果。3年生、お疲れ様でした。

☆私立大会☆予選リーグ敗退

- 立教池袋 49 - 21 日大一
- 立教池袋 27 - 23 国学院久我山
- 立教池袋 29 - 64 桐朋
- 立教池袋 63 - 30 聖学院
- 立教池袋 28 - 41 高輪

新チーム初の大会は苦いものとなった。3年生の都大会により、スタートは送れたが、取り戻そうという意欲がみられた。ケガや体調不良があり、まだまだ基礎体力が不足する部分もあるが、逆にいえば、伸びしろは十分にあるということだ。

☆第十支部大会☆優勝

3年生が出場する大会で、全試合全員出場で見事優勝。

☆豊島区秋季大会☆2回戦敗退

- 1回戦 立教池袋 45 - 37 駒込
- 2回戦 立教池袋 40 - 46 巢鴨北

なかなか結果が出ず、苦しいところであるが、少しずつ成長を感じられる部分も出てきている。下を向かず、前を見て、歯を食いしばり、春には区のトップに立とう。キャプテンを中心にまとまりができて、チーム状況は悪くない。秋・冬に我慢。

<下級生情報>

12月23日(火・祝) 私立1年生親睦大会

無念、3回戦で散る

第96回全国高等学校野球選手権大会 東東京大会 2回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
立教池袋	0	4	0	2	0	1	1			8
足立工	0	0	0	0	0	0	0			0

※7回コールド

3回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
東	0	0	0	2	1	0	3	0	0	6
立教池袋	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3

春の悔しさを晴らすべく臨んだ3年生最後の選手権大会。

抽選の結果、2回勝てば初のベスト16進出をかけて春の優勝チームと対戦できるとあって意気揚々と臨んだが・・・もちろん、先のことなど考えず一戦必勝の気持ちで試合に臨んだが、結果は3回戦敗退。例年に比べ身体も大きく、球も放れる選手も多いため楽しみな大会であったが、悔しさの残る大会となった。やはり春の大会からの課題、あと一本が出ない、本番に弱い、ところが解消されなかったように思われる。練習試合では強豪校とも互角に渡り合うことができたのだが、やはり普段からの練習にもっと厳しさを持って臨む必要があるのではないかなと思う。毎年同じようなことを言っているように思えるが、改めてその必要性を感じている。2年生以下の選手たちは、この教訓を活かして、来年の夏までしっかりと取り組んでほしい。

3年生諸君、2年半の高校野球生活お疲れ様でした。大学で続ける者、そうでない者と思うが、この2年半は今後の君たちの人生において宝となるはず。卒業までは野球部員。最後まで自覚ある行動を願いたい。



高校野球部

残念、4年連続本大会進出ならず

秋季東京都高等学校野球大会1次予選 第18ブロック 2回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
立教池袋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日大三	0	0	0	0	0	0	3	0	X	3

新チームがスタートして初めての公式戦。ブロック予選を勝ち上がると本大会、そして来年の春の大会も1次予選が免除され本大会から出場できることになるため、とても重要な大会。当然1つでも上を目指して臨んだ大会であったが、結果は1次予選初戦敗退。

ご存じの方も多いと思うが、相手は甲子園優勝経験もある強豪。しかし、やるからには当然勝ちに行ったのだが、残念ながら敗退。投手が踏ん張り、守備でミスを減らし凌いでワンチャンスをものにして勝つというプランがあったのだが、守備に関しては投手は6回まで相手打線を1安打に抑え、守備も2併殺を含むノーエラーでこれ以上ない形で踏ん張ったが、攻撃においては残念ながらチャンスが作れなかった。これが全て。攻撃においては力不足が否めず、今後の大きな課題となった。守備においても、その後の練習試合を見ていると、あの試合は偶然ノーエラーだっただけに過ぎないという内容である。いい試合をしても、負けは負け。全てにおいてまだまだ足りないことがたくさんある。

春は1次予選からのスタート。しっかりとこの冬をその準備に充ててほしい。

高校卓球部

主要戦績報告

- 東京都私立中高卓球大会(於東京体育館 8/28-31) シングルの部 高2 島村がベスト32
- ジュニア予選 島村がベスト128 (シードとも善戦、見応えのある試合でした!)



今後の予定

- 11月8日(土) 新人大会 シングルス Bブロック 於多摩工業高校 13:00-
- 11月9日(日) 新人大会 シングルス 決勝 明大明治 9:00-
- 11月22日(土)または23日(日) 決定は1週間前 新人大会 団体の部

高2をはじめ、部員の多くがR.I.F.の役割のため超多忙ですが、1年の計とも言える新人大会で精一杯力を出せるよう健闘をお祈りします。いろいろと顔を出してくれているO.B.にも尽力を期待したいと思います。

高校バスケット部

高校バスケット部は、1年生10名、2年生7名の計17名で日々練習に励んでいます。

いよいよ11月2日からは新人戦支部大会が始まります。今年こそ支部ベスト8(都ベスト32)となり、都の本大会に出場できるよう頑張ります! 2回戦まではR.I.F.当日なので応援は難しいと思いますが、勝ち進んだ時は是非見に来て下さい!!

秋の新人戦支部大会日程

- 1回戦: 11/2(日)12:00~ vs武蔵高校(武蔵高校にて)
- 2回戦: 11/3(祝)13:30~ vs都国分寺高校(都石神井高校にて)
- 3回戦(ベスト8決め): 11/9(日)12:00~ vs未定(都石神井高校にて)



高校サッカー部

選手権大会 東京都1次予選結果

- 1回戦 対 都立橋 3-1 ○
- 2回戦 対 豊島学院 3-0 ○
- 3回戦 対 都市大付属 2-2 × (PK 3-4)



2回戦で、常に敗れてきた豊島学院に公式戦で勝てたことは大きな収穫だった。その勢いで、3回戦も勝って2次予選に進出したかったが、PKで惜敗してしまった。チームとしてここ数年でも上位に入る成績を残した。後輩諸君は3年生が流した悔し涙、悔しい思いを忘れずに日々の練習に励んでほしい。

新人戦地区予選日程

- 1回戦 シード
- 2回戦 対 郁文館、本郷の勝者 11月24日
- 3回戦 対 巢鴨、貞静学園の勝者 11月30日
- 4回戦 } 対戦校未定
- 5回戦 }
- 6回戦 }

新キャプテン: 渡辺 健太郎(高2) 副キャプテン: 本田 大晟・澤村 郁来(高2) マネージャー: 佐久山 颯人(高1)

